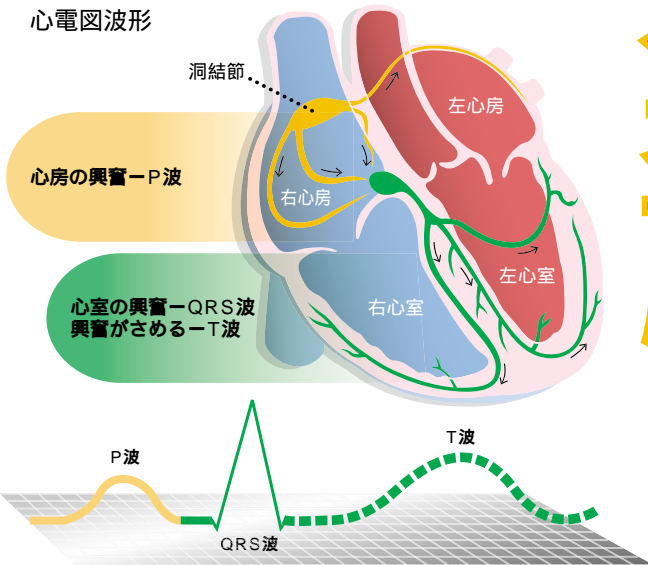


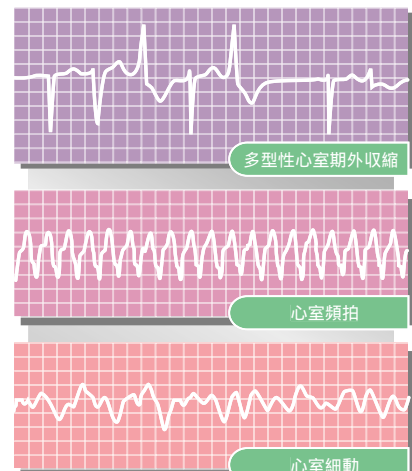
不整脈とは

心臓の電気刺激伝導と心電図波形



心臓は休むことなくリズムミカルに収縮・拡張を繰り返す筋肉器官です。その拍動リズムは電気的な刺激(興奮)によって起ります。電気を発生させる発電所は心房にある洞結節です。電氣的興奮は伝導路を経て、心房から房室結節、心室へと伝わり、その興奮によって心房、心室が収縮し、興奮がさめると拡張します。こうして心臓は規則正しいリズムを刻み、全身に血液を送り出しています。

不整脈とは、心臓の電氣的なトラブルによって起るもので、発電、伝導、興奮、いずれか一つ、あるいは複数に異常が発生したものです。その結果、脈拍数が一分間に六〇未満になると徐脈、一〇〇以上あると頻脈と呼ばれています。不整脈には、徐脈、頻脈のほか、リズムが不規則になるものなどもあります。特に気をつけなければいけないのは突然死につながる不整脈で、治療が必要です。逆に心配のない不整脈もあります。



主な心電図の波形

心室期外収縮
健康な人にもみられる不整脈ですが、致死的な不整脈へ移行する危険のあるも

心室頻拍
出現するもので、一分間に一三〇以上の頻拍をいいます。これは非常に危険な不整脈で、心室細動に移行す

心室細動
心室がまとまりなく、局所局所で細かな興奮を起し、心拍出ができなくなります。素早い治療が行われないと死亡します。

危険な不整脈
不整脈の中には致死的なものがあります。また、その危険の予兆となる不整脈もあります。数多い不整脈から、そのごく一部を紹介しましょう。

心電図検査は心臓の電氣的現象を直接捉えて解析する検査で、不整脈の診断・治療には不可欠です。不整脈だけでなく、冠動脈疾患(狭心症、心筋梗塞)、弁膜症といった心臓病の診断にも心電図は有用な情報を提供します。

通常の心電図検査は十二誘導心電図です。手足と胸に複数の電極を着けて、十通りの方向から電氣的現象の時間的経過を記録します。

電氣的な異常は、安静時以外に起こることもあるので、安静時における通常の検査と突然死します。心臓病の原因であることが多いのですが、原因不明のものもあります。

心電図検査は

検査方法のほかに、階段の昇降など運動負荷をして運動負荷心電図検査や二十四時間継続して記録する携帯型のホルター心電図検査などがあります。

不可欠



携帯カード型心電計
不整脈は何時起こるか分からないため常時携帯できる心電計が開発されています。胸ポケットに入るサイズで、異常を感じたときに胸にあてて記録し、それを専門医に電話伝送して診断してもらうシステムです。

日本心臓財団より

日本心臓財団は、わが国三大死因のうちの心臓病と脳卒中の制圧を目指して、一九七一年に発足いたしました。

当財団は、研究に対する助成や予防啓発、また世界心臓連合加盟団体としての諸活動を通して、心臓血管病の予防・制圧に努めております。当財団は皆様のご寄付により運営されています。ご同様の協力をお願い申し上げます。

財団法人 日本心臓財団
〒一五五 東京都千代田区丸の内三三四-1 新国際ビル
☎ 三三三一-一八
ホームページ・アドレス <http://www.jhf.or.jp/>